

SCIENCE CAFE

Our Science Cafe initiative sends researchers out to libraries, science museums, centers and other public locations in Yokohama and the surrounding areas to discuss science with participants in an informal and friendly atmosphere over a cup of coffee.



計算科学とバイオ技術の
融合で生まれる
”未来のものづくり“

3.20 2025
木・祝

みなとみらい BUKATSUDO

定員 60 名 / 要予約 / 参加費無料

<https://www.yokohama.riken.jp/sciencecafe/>



計算科学とバイオ技術の 融合で生まれる “未来のものづくり”



DATE

2025年3月20日（木・祝）

13:30 - 15:20（受付13:00から）

会 場：BUKATSUDO
<https://bukatsu-do.jp>

対 象：中学生以上

定 員：60名（応募多数の場合は抽選）

参加費：無 料

主催：国立研究開発法人理化学研究所

［お問い合わせ］

理化学研究所 横浜事業所

TEL. 045-503-9111（代表）

E-MAIL. yscafe@riken.jp

<https://www.yokohama.riken.jp/sciencecafe/>

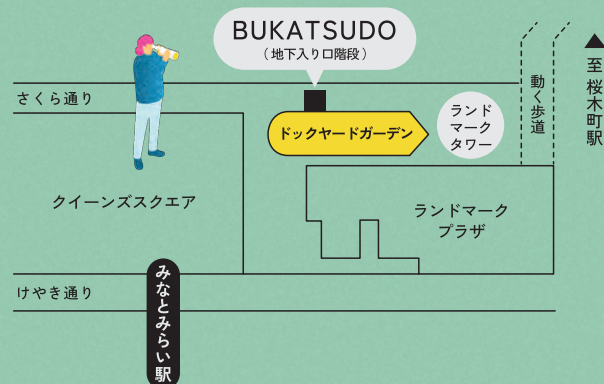
MAP

会 場：BUKATSUDO <https://bukatsu-do.jp>

住 所：横浜市区みなとみらい2丁目2番1号

ランドマークプラザ ドックヤードガーデン 地下1階

最寄駅：桜木町駅（JR・市営地下鉄）、みなとみらい駅（みなとみらい線）



私たち人類は石油から現代の生活に欠かせない燃料、プラスチック、ゴム、化学繊維など色々な「モノ」を作り出し、それらの恩恵に預かっています。しかしその負の影響は徐々に現れ、温暖化を始めとした地球環境への負荷がとて大くなっています。この地球規模の社会問題を解決する手段の一つが、空気中の二酸化炭素や植物を利用して微生物から様々な有用な物質を作り出すバイオ技術です。

石油から作られる現代の生活に重要な「モノ」を微生物はもともと作れません。仮に作れたとしても、自ら自然にたくさん作ることはありません。そのため、生物細胞の中をデザインし、目的の物質をたくさん作れるようにコントロールする研究が必要になります。細胞の中にある数千から数万の反応をコントロールしデザインするためにコンピュータ計算を使った技術が活かされます。

今回は、生物細胞を使ったバイオものづくりの大切さと難しさから、AIの力を使った画期的な細胞デザインのお話をします。

ENTRY

申込方法

申込期間：

2025年2月3日（月） - 3月2日（日）

1. WEB site

<https://www.yokohama.riken.jp/sciencecafe/>
にアクセスし、オンラインフォームよりお申し込み



2. E-mail

氏名、年代（年齢）を記載の上、
yscafe@riken.jp 宛にお申し込み



LEFT

白井 智量

SHIRAI Tomokazu

理化学研究所 連携促進本部 バトンゾーン研究推進プログラム
微生物ケミカル生産研究チーム

2007年大阪大学にて博士（工学）取得、2007年～2008年財団法人地球環境産業技術研究機構 研究員を経て、2008年～2012年三井化学株式会社に在籍、2012年より理研に上級研究員として在籍。主な研究領域は、代謝工学、合成生物学。趣味として、登山、ハイキングや植物栽培、歴史全般（特に戦国時代）を好む。

RIGHT

鈴木 淳

SUZUKI Jun

理化学研究所 連携促進本部 連携促進部

2009年東京工業大学にて博士（理学）取得後、理研に在籍。2009年に理化学研究所 知的財産戦略センターのパテントリエゾンとして着任。以降、研究成果の実用化に関わる業務に携わり現職に至る。微生物ケミカル生産研究チームの立ち上げにも関与。関心事は未来社会、社会変革など。

サイエンスカフェとは？

飲み物を片手に気軽に科学について語り合う、講演会でもシンポジウムでもないカジュアルなスタイルのイベントです。